

報道提供資料

令和6年5月22日



貝塚市

総合政策部魅力づくり推進課

広報・シティプロモーション

担当 藤木・遠藤

TEL:072-433-7059

## 大阪府内初！「二色の浜」が国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得しました

ブルーフラッグとは、国際 NGO FEE（国際環境教育基金）が実施するビーチ・マリナー・観光用船舶を対象とした歴史ある国際環境認証であり、ブルーフラッグビーチは「きれいで安全で誰もが楽しめる優しいビーチ」であることが求められます。

ブルーフラッグを取得するには、地元自治体やビーチの管理・運営者等が中心となり、厳しい基準を達成することが必要であり、また、毎年審査を受けて更新する制度となっています。

二色の浜観光協会（二色の浜海水浴場開設者）と二色の浜リバイバル・プロジェクトグループ（大阪府営二色の浜公園指定管理者）は、本市と連携して、昨年からの国際環境認証「ブルーフラッグ」の取得に向けた準備を進め、5月1日に取得しました。

本市では、二級河川の近木川が平成5年度と平成9年度に行われた環境省の水質に関する調査で、全国の二級河川の中で水質ワーストワンでありましたが、地域一体となった清掃活動などの効果により、近木川や近木川河口に位置する二色の浜の水質は大きく改善しました。

現在では、貴重な水生生物が近木川河口部等で確認されており、昨年2月に「登録博物館」になった市立自然遊学館では環境教育の一環として、二色の浜のアマモ場において、シュノーケリングで生きものを観察するなど、調査活動を行っております。

また、本市では、人権尊重のまちづくりに注力してきたところであり、昨年8月には、NPO 法人 須磨ユニバーサルビーチプロジェクトと連携して、車いすに乗ったままで海水浴が楽しめるユニバーサルビーチ体験会を開催しました。

こうした取り組みが評価され、今回のブルーフラッグの認証取得に繋がったものと考えております。今後もブルーフラッグに相応しい取組みを継続・発展させてまいります。

### 【今後の取組み予定】

◎稚魚の放流：6月15日（土）

◎アマモ場に生息する生きものの観察会：7月7日（日）

◎ブルーフラッグ取得記念シンポジウムの開催：7月7日（日）

場所 貝塚市役所 6階 多目的ホール

◎海水浴場開設期間：7月13日（土）～8月25日（日）

◎ユニバーサルビーチ体験会：8月3日（土）

問合せ先：魅力づくり推進課 藤木 電話072-433-7059

貝塚二色の浜ユニバーサルビーチ体験会（令和5年8月26日開催）



【昨年の様子】

近木川クリーンキャンペーン



Honda ビーチクリーン活動



二色の浜アマモ観察会



稚魚の放流



## ■一般社団法人日本ブルーフラッグ協会ホームページ 抜粋

ブルーフラッグとは、国際 NGO FEE（国際環境教育基金）が実施するビーチ・マリーナ・観光用船舶を対象とした世界で最も歴史ある国際環境認証制度です。認証基準を達成すると取得でき、毎年の審査を通じて、ビーチやマリーナ等における持続可能な発展を目指しています。国内では2024年5月1日現在、14か所（ビーチ12か所、マリーナ2か所）がブルーフラッグ認証を取得しました。

ブルーフラッグは1985年にフランスで誕生し、2023年5月時点で、世界51か国、5,036か所が取得。特にヨーロッパでの認知度は高く、ブルーフラッグビーチは「きれいで安全で誰もが楽しめる優しいビーチ」として、多くの人々がバカンスに訪れます。ブルーフラッグを取得するためには地元自治体やビーチ、マリーナ・観光船舶の管理・運営者等が中心となり、厳しい基準を達成することが求められます。多くの基準設定にもかかわらず世界中でブルーフラッグの掲揚が増えています。これはブルーフラッグを取得する過程で周辺地域の関係者が関与することにより、地域の経済的側面と環境的側面を両立させる持続可能な発展につながると高く評価された結果だと言えます。

ブルーフラッグ認証プログラムは、SDGsの17ゴールのすべてに関連しており、FEEでは、UNEP（国連環境計画）やUNWTO（国連世界観光機関）等との連携のもと、世界各国において推進しています。ビーチでは4分野（水質、環境マネジメント、環境教育と情報、安全性とサービス）33項目、マリーナでは6分野37項目、観光船舶では5分野51項目の認証基準があり、毎年審査を受けて更新する必要があります。基準を満たしたビーチ・マリーナ・観光船舶は国際基準の証しである旗を掲げることができます。

認証を取得するためにはJARTAに申請し、国内審査及び国際審査を受ける必要があります。2024年5月時点の認証ビーチ・マリーナは以下14か所です。

- ①由比ガ浜海水浴場（神奈川県鎌倉市）：2016年から9年連続取得（アジア初取得）
- ②若狭和田ビーチ（福井県高浜町）：2016年から9年連続取得（アジア初取得）
- ③須磨海水浴場（兵庫県神戸市）：2019年から6年連続取得
- ④本須賀海水浴場（千葉県山武市）：2019年から6年連続取得
- ⑤片瀬西浜・鵜沼海水浴場（神奈川県藤沢市）：2021年から4年連続取得
- ⑥逗子海水浴場（神奈川県逗子市）：2022年から3年連続取得
- ⑦リビエラ逗子マリーナ（神奈川県逗子市）：2022年から3年連続取得（マリーナでアジア初取得）

- ⑧興津海水浴場（千葉県勝浦市）：2023年から2年連続取得
- ⑨小田の浜海水浴場（宮城県気仙沼市）：2023年から2年連続取得
- ⑩サンオーレそではま海水浴場（宮城県南三陸町）：2023年から2年連続取得
- ⑪菖蒲田海水浴場（宮城県七ヶ浜町）：2023年から2年連続取得
- ⑫高田松原海水浴場（岩手県陸前高田市）：2024年取得（岩手県内初取得）
- ⑬二色の浜海水浴場（大阪府貝塚市）：2024年取得（大阪府内初取得）
- ⑭リビエラシーボニアマリーナ（神奈川県三浦市）：2024年取得（マリーナでアジア2番目）

